

元気で明るい 笑顔あふれるまち



目次

I	はじめに	3
II	計画策定編	
1	横浜瀬戸コミュニティ計画の更新	8
2	よこせとを振り返る	10
3	よこせとの今を語り合う	12
4	よこせとの未来を語り合う	14
5	よこせと未来のまちづくり子ども会議	16
6	横浜中学校まちづくり会議	17
III	計画本編	
1	理念と将来像	22
2	計画の体系	24
3	計画内容	26
IV	資料編	
1	コミュニティ計画について	50
2	計画策定の経過	54
3	よこせと未来のまちづくり通信	56
4	よこせとの地図	57
5	計画策定参加のみなさん	58

よ

よろこびいっぱい



横浜小学校区民大運動会 優勝チーム (サザンヒルズ)

YOKOSETO

1 はじめに



元気で明るい笑顔
あふれるまちへ

むかし、40年以上前、この地域に新しい団地ができました。草深い静かな田舎の風景が一変します。以前から住んでいた人達はびっくり。続々と新しい住民が流入し「おまち」になってしまいました。

いまや「よこせと」は人口も店も増え、浦戸湾と鷲尾山など南嶺に囲まれたすばらしい住宅地域になっています。

さて、当時20代から40代の血気盛んな青年たちがソフトボールに熱中し、地区対抗戦や早起きソフトボール大会を繰り広げていました。横浜地区から浜本レッド・中の谷ファイターズ・瀬戸 Yankees・YTCの4チーム、グリーン団地・関西ミサワ（横浜西町）・瀬戸西町・瀬戸東町1、2丁目・瀬戸スリー（瀬戸東町3丁目）の5チームの合計9チームに、地域の企業チームから男爵・サンシャイン・安全タクシー・精華園・各銀行がこれに加わります。

この熱戦の中で人を知り、腹をわった付き合いが生まれ、仲良くなっていきました。この人の輪が「よこせとの底力」だと思っています。

子どもたちのため、野球しかなかったスポーツ少年団にバスケット・サッカー・バレー・卓球・ドッチボール等の新しい部を創設し、地域のにぎわいと親睦のため、サマーフェスティバル、よこせと海辺のにぎわい市、地区運動会、親子ニログ釣り、南嶺ハイキング等の行事を開催してきました。

現在、ここにきて新たな地域課題が生じています。少子化・高齢化の問題と南海大地震などの災害に対する備えの問題です。

このような状況に対応するため「よこせと」の力を集結し、連携を取りながら、また行政にもご協力いただきながら、解決に取り組んでいこうと「よこせと連携協議会」を設立しました。

そして、今回の計画をもとに、よこせとの新たなまちづくりをスタートさせます。

「元気で明るい笑顔あふれるまち」を実現するために。

よこせと連携協議会 会長 江口 富博



「よこせとコミュニティ計画」
策定にあたって

このたび、よこせと地域の皆様の「自分たちの住む地域をこんな地域にしたい」という思いを含め、「元気で明るい笑顔あふれるまち」を将来像とする『よこせとコミュニティ計画』を策定いたしました。策定にあたり、ご参加いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

高知市では、平成5年から地区ごとのコミュニティ計画の策定に取り組むなど、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを進めてまいりました。

よこせと（横浜瀬戸）地域においては、平成9年3月に“日本に誇れる良質な住居地区をつくろう”を将来目標とした『横浜瀬戸コミュニティ計画』を策定し、約20年にわたって、よこせと地域の皆様との協働により計画を推進してまいりました。

そして近年、本市においても、少子化・高齢化の影響による地域のつながりの希薄化や地域活動の担い手不足など、新たな地域課題が生じてきました。これらの課題に対応するため、よこせと地域では、平成27年度に設立された「よこせと連携協議会」が中心となり、『横浜瀬戸コミュニティ計画』を更新する形で、今回新たな計画の策定に取り組んでいただきました。また、多様な世代・視点からの意見を反映させることで、より魅力的かつ実現性のある計画にするため、地域の子もたちからもご意見をいただきました。

この計画は、課題解決に取り組む上で重要となる住民主導での取組を中心とした構成となっており、今後の地域の活動計画としての役割を果たすものとなっています。

本市といたしましても、この計画の実現に向けて、地域の皆様とともに力を合わせて取り組んでまいりたいと存じます。

よこせと地域の皆様におかれましては、この計画をお手元に置いていただき、多くの方が自分たちの住むよこせと地域のまちづくり活動にご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

高知市長 岡崎 誠也

こ

こころあったか



よこせと海辺のにぎわい市 (よこせと・まちづくり市民会議)

YOKOSETO

II 計画策定編

多くの人たちの思いを集め、「よこせと地域」の夢と未来を語り合ってきました。

これらの未来を実現するためには、その道筋をはっきり示すことが大切です。

計画策定編は、計画策定に関わった人たちだけではなく、計画策定に参加できなかった人や「よこせと地域」以外の人たちにも、その道筋を共有できることを意識しながら作成しました。

1

横浜瀬戸コミュニティ計画の更新



高知市では、平成5年からおおむね小学校を単位として、市民の皆様の参加と協力により、地域の将来像とその実現のための事業をまとめた「コミュニティ計画」を策定し、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを進めてきました。

横浜瀬戸地域においては、平成6年10月に「横浜瀬戸コミュニティ計画策定市民会議」を設立し、約1年半かけて今後の地域の目指すべき将来像や地区の整備方針・計画等について討議を行いました。そして、平成9年3月に「日本に誇れる良質な住居地区をつくろう」を将来目標とした行政計画である『横浜瀬戸コミュニティ計画』を策定しました。

さらに、計画を実践するための住民主導の自主的な組織として、平成8年に「横浜瀬戸コミュニティ計画推進市民会議（平成15年に「よこせと・まちづくり市民会議」へ名称変更）」が結成され、約20年にわたり計画に基づく各種事業に取り組んできました。

現在、『横浜瀬戸コミュニティ計画』は策定から20年以上が経過し、多くの計画掲載事業が実施済か実施中であることや、計画策定当時とは社会情勢が大きく変化し、新たな地域課題が出てきたことから、地域のまちづくりを持続可能なものにするため、多様な視点から検討を加えた新たな計画づくりの必要性が生じてきました。

そこで、地域内での連携・協力による地域課題の解決を目指し、地域活動に関わる多くの団体が参加して平成27年7月に設立された「よこせと連携協議会」を検討の場として、地域にも幅広く呼びかけながら、地域の現状に沿った新たな『よこせとコミュニティ計画』を策定しました。

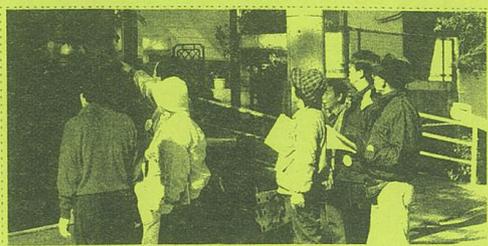
今回の計画は、これまでの計画にもとづく20年間の取組を通じて醸成された地域力や協働の意識を土台として、住民主導のこれからのまちづくりへ、新たなステップを踏み出すための「よこせとの道しるべ」となるものです。

コミュニティ計画策定の様子

当時 「横浜瀬戸コミュニティ計画」 策定の様子

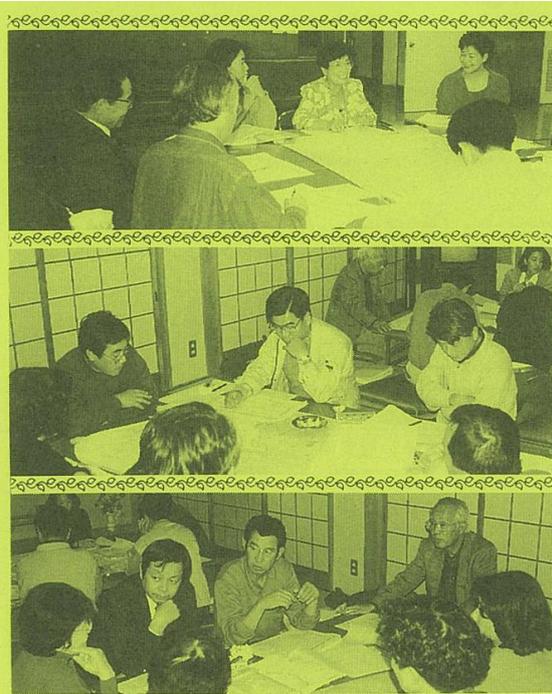
■参加者の感想

- ゆっくり歩いて自分のまちを知る大切さを知りました。
- 沿道のゴミ、空き缶の多さに驚きました。
- たくさんの人の集まりの中で、最優先に何を考え、実行すればよいかを学びました。
- 歩き慣れた街が歩く目的によって色々気づくことが多かったです。
- 地域の現状を総合的に知るうえで良い勉強になりました。
- 自分の街を改めて見直すいい機会でした。



横浜瀬戸の皆さんのウォッチング

横浜瀬戸まちあるきウォッチング
(私たちの横浜物語・瀬戸物語-No.2
平成7年4月発行分より抜粋)



市民会議の皆さんの活動状況

横浜瀬戸コミュニティ計画策定市民会議
(私たちの横浜物語・瀬戸物語-No.4
平成8年3月発行分より抜粋)

現在 「よこせとコミュニティ計画」 策定の様子



第2回よこせと未来のまちづくり会議
(平成29年7月12日)



第3回よこせと未来のまちづくり会議
(平成29年8月23日)

いつの時代も、地域の人たちが自分たちの住む地域について真剣に考え、住みよいまちづくりに向けて、積極的な話し合いが行われています。

よこせとを振り返る



横浜瀬戸コミュニティ計画の策定について

平成6年頃の横浜瀬戸地域では、大規模な宅地造成に伴って、地域の人口が急増し、道路網や下水道等の都市基盤の整備が急がれていました。加えて、新旧の市街地の地域間の連携や地域コミュニティの醸成を図っていくうえで、地域住民の新たな交流や様々な活動を行っていく必要があったことから、その指針となるまちづくり計画を、市民と行政の協働によって策定するため「横浜瀬戸コミュニティ計画策定市民会議」が設立されました。策定市民会議では、まちあるきウォッチングによる現状把握、地区全世帯へのアンケート調査による現状分析を行った結果、将来像や問題・課題に対する具体的な取組等をまとめた「横浜瀬戸コミュニティ計画（案）」を作成しました。

その後、計画（案）の市長への提言を経て、高知市庁内での実現可能性の検討や調整等を行い、行政計画としての『横浜瀬戸コミュニティ計画』を策定しました。

【将来像】

日本に誇れる良質な
住居地区をつくろう

【目指すべき方向性】

1. 道路網や下水道などの都市基盤整備を加速・充実させよう
2. 自然を守り自然を活かす地域として整備しよう
3. 地域の人とのふれあいを大切にするまちにしよう
4. 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちにしよう

横浜瀬戸コミュニティ計画推進市民会議の活動内容

「横浜瀬戸コミュニティ計画推進市民会議（平成15年に「よこせと・まちづくり市民会議」へ名称変更）」は、コミュニティ計画を推進するため、平成8年に結成された地域住民の自主的な組織で、これまでの約20年間、横浜瀬戸地域のまちづくりに関わる様々な活動を市民主体、または市民と行政の協働により行ってきました。

毎年5月に灘漁港で開催している「よこせと海辺のにぎわい市」もその一つです。地域のにぎわいの場の創出を目的として始まり、住民同士や、地域外との広域的なつながり作りに貢献してきたこの取組も、平成30年に17回目を迎え、来場者5,000人を超える地域の一大イベントとなりました。

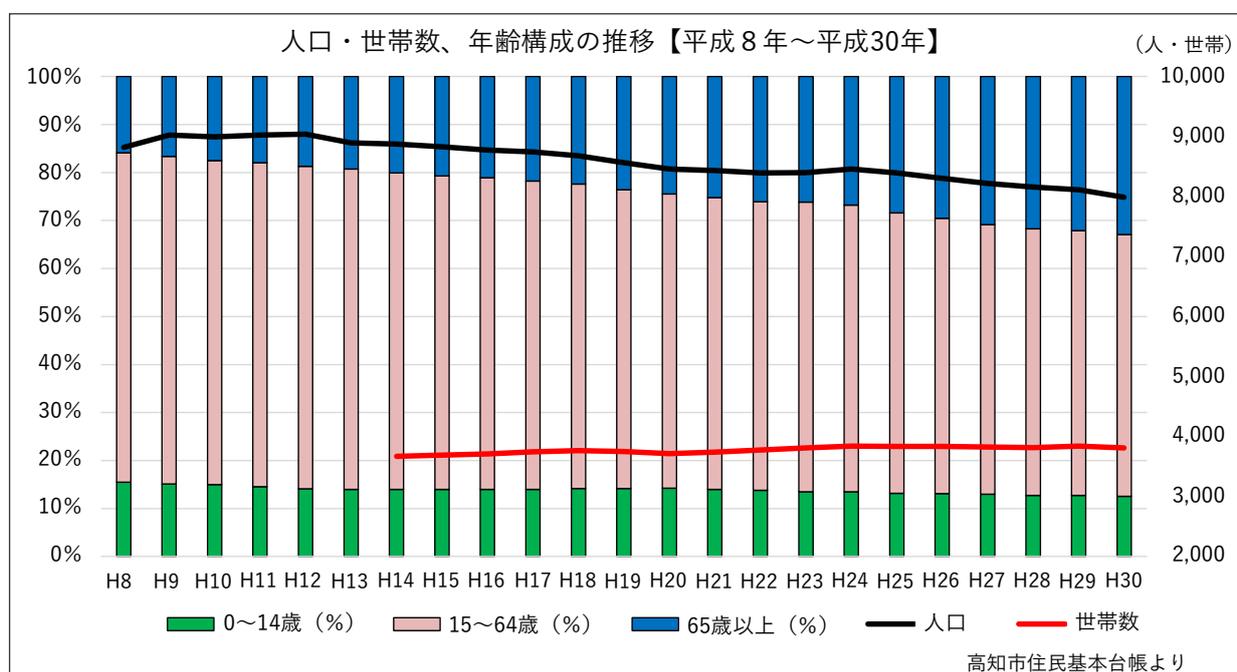
また、宇津野トンネルの南方500メートル区間の清掃（年4回）や、周辺地域の市民会議と協力し、より広い範囲の清掃を行う「8月8日ロードボランティア^{ハチハチ}」など、環境美化活動にも積極的に取り組んできました。

その他、住民の健康増進や世代間交流、地域の自然に親しむことを目的に行っている、鷲尾山「南嶺ハイキング」や、地域内の史跡を巡り、地域の歴史や文化への理解を深める「歴史探訪まちあるき」など、様々なテーマのまちづくり活動を実施しています。

なお、よこせと・まちづくり市民会議は、横浜小・横浜新町小の2つの小学校区からなる横浜中学校区で活動してきましたが、今後の地域内連携協議会設立を見据え、地域の現状により細かく対応できるように、地域として広すぎず、人と人が顔見知りになれる小学校区へと活動範囲を変更しました。平成25年4月から「よこせと・まちづくり市民会議（横浜小学校区）」と「横浜新町まちづくり市民会議（横浜新町小学校区）」に分かれ、それぞれ独自の活動を行いながらも、同じ横浜中学校区の団体として、引き続き連携・協力して活動しています。

よこせと連携協議会の設立について

平成30年4月1日現在、横浜瀬戸地域には、約8,000人が暮らしています。過去20年間の人口推移を見ると、計画が策定された平成9年の約8,900人から約900人減少しています。また、65歳以上の高齢者の割合が徐々に増加する一方、15歳から64歳までのいわゆる現役世代の割合が減少しています。



都市基盤については、「横浜瀬戸コミュニティ計画」の登載事業を中心に、公共下水道の完備や道路網の再整備等が行われた結果、計画策定当時と比較するとその多くが完了しました。

《横浜瀬戸コミュニティ計画登載事業（実施済・実施中のもの）》

- ・公共下水道の完備
- ・公園整備
- ・道路網の再整備
- 中心地等アクセス改善（長浜1号線・2号線）
- 生活道路の整備（柵の改善、歩道整備）
- ・道路等の維持管理
- 路面・側溝の整備、樹木の剪定
- など

都市基盤整備が進む一方で、少子化・高齢化の影響による地域活動の担い手不足や家族形態の変化による単身世帯の増加、近隣住民同士のつながりの希薄化など、近年の社会情勢の変化に伴い、特にソフト面での新たな地域課題が生じています。

このような状況に対応するため、平成27年7月に、地区町内会連合会や体育会、防災連合会、PTA、よこせと・まちづくり市民会議など地域内の各種団体による地域内連携組織として「よこせと連携協議会」が設立され、地域課題の解決に取り組む体制が作られました。

3

よこせとの今を語り合う



よこせと未来のまちづくり会議は、よこせとの今を知り、そしてよこせとの魅力や好きなどころ、課題や困っているところについて語り合うことから始めました。



よこせとの魅力・好きなどころ



ヒト



●つながり

- ・つながり、絆が強い
- ・地域の活動が活発
- ・学校や地元企業が協力的
- ・地域が学校に協力的

●人材

- ・地域活動に熱心な人が多い
- ・お年寄りが元気で、陽気な人が多い
- ・子どもが元気で素直
- ・地域活動に参加する中学生が多い

モノ



●自然環境

- ・自然が多い
- ・海と山が近い
- ・景色がきれい
- ・小学校、ヴィアン西側の桜がきれい
- ・動植物の多様性

- 海
- ・玉島がある
 - ・浦戸湾の西海岸がすばらしい
 - ・漁港がある
 - ・釣りができる

- 山
- ・南嶺からの景色がすばらしい
 - ・ホテルが飛んでいる
 - ・山あるきができる

- 恵み
- ・おいしい魚が取れる、買える
 - ・たけのこ、ピワ、梅などが取れる



コト

●行事・イベント

- ・地域のイベント（花火・お祭りなど）がある
- ・にぎわい市の取組はすばらしい
- ・清掃活動、ロードボランティアを頑張っている

●利便性

- ・スーパーやコンビニが多くて便利
- ・病院、銀行がある
- ・交通網が整備されている（バス）
- ・道路が整備されている

●その他

- ・昔の風習が残っている（神社のお祭りなど）
- ・犯罪が少ない



参考に・・・

当時の「横浜瀬戸コミュニティ計画」を策定する時にはこんな意見が出ていました。

横浜瀬戸のいいところ【抜粋】

- ・下水道が整備されている（都市基盤）
- ・学校行事が良い（教育）
- ・瀬戸東町からの浦戸湾の眺めが良い（自然）
- ・瀬戸川親水公園の大きな木と祠、並木が良い（自然）
- ・公民館があり皆の触れ合いができる（施設）
- ・地域活動交流が良い（地域活動・交流等）・・・など



よこせとって
どんなとこなが？



よこせとのココが
好きながよ～！



よこせとの課題・困っているところ



ヒト



●少子高齢化

- ・高齢者が増えた
- ・一人暮らしの高齢者が多い
- ・子どもが減ってきた
- ・若い世代が県外へ出て行く



●マンパワー

- ・高齢者が増え、町内会などの世話役が少なくなった
- ・次世代のまちづくり人に早くバトンタッチしたい
- ・地元にいる自営業の消防団員が少ない
- ・いろいろな地域活動団体のメンバーがほぼ同じ
- ・福祉分野で活動する人が少ない

●交流

- ・町内会活動に地区ごとの格差がある
- ・公園でゲームをする子どもが増えた
- ・高齢者に対するフォローが不十分
- ・近所付き合いが減って、つながりが希薄になった

モノ

●お店・施設

- ・総合病院、小児科がある病院が少ない
- ・大きい飲食店が少ない
- ・集会所が古い、少ない
- ・まちづくりの拠点となる施設がない
- ・子どもの遊び場となる場所が少ない

●安全安心

- ・空き家が多い
- ・ブロック壁が多い
- ・交番がない
- ・空き地の雑草が茂っている
- ・街灯が少ないところがある

コト

●防災

- ・災害時、海岸にゴミが流れ着く
- ・雨のときに浸水する
- ・横浜保育園が孤立する
- ・避難所の横浜小学校が孤立する
- ・中心道路が浸かり、避難所が分断される
- ・津波が心配



●交通

- ・幹線道路があり、多くの車がスピードを出している
- ・車がないと生活できない
- ・電車がない
- ・車の事故が多い
- ・朝の交通量が多く、渋滞する
- ・坂道、急傾斜地が多い
- ・歩道がせまい
- ・中心地からのバスの路線が少ない
- ・医療機関（国立病院、医療センターなど）への直通バスがない

●その他

- ・行政区の区割りを改めるべき

●環境

- ・海に近いが、意外と海で遊んでいない

参考に・・・

当時の「横浜瀬戸コミュニティ計画」を策定する時にはこんな意見が出ていました。

横浜瀬戸の改善したいところ【抜粋】

- ・宇津野トンネルを二車線にしてほしい（都市基盤）
- ・生涯学習の場が無い（教育）
- ・瀬戸保育園～県道間の法面に植栽をしてほしい（自然）
- ・鷲尾山に遊歩道を整備してほしい（自然）
- ・ゴミの清掃等地域活動交流が必要である（地域活動・交流等）
- ・・・など

よこせとの未来を語り合う



よこせとの魅力や好きなところを活かして何ができるか、そして課題や困っていることを解決するために何ができるか、何が必要かを語り合いました。

●防災への取組

- ・ 防災訓練
- ・ 非常食や防災グッズの常時使用点検を行う
- ・ 消防団の活動に参加してもらう
- ・ 火の用心の見回りをする

●福祉活動の推進

- ・ 高齢者の見守り（声かけ）
- ・ 定期的に集まれる場所をつくる
- ・ ヨネッツ（プール）無料デーでお年寄りを元気に
- ・ 孤独死を防げるようなシステムがあればいい
- ・ お年寄りが元気になるような行政の支援

●交通・道路

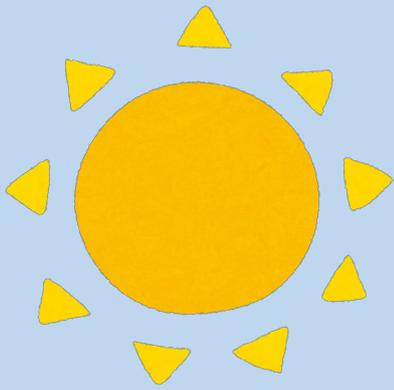
- ・ 交通ルールを守れるようにする
- ・ 自転車に乗るときは、ヘルメットを被る

●世代間交流の促進

- ・ 子どもからお年寄りまでみんなが一緒に楽しめる取組（カラオケ、将棋など）
- ・ 様々なテーマごとに、定期的に集まり相談したり、遊んだりできる場をつくる（昔遊び・健康チェックなど）

●情報発信・収集

- ・ 中学生にもアンケートなどして意見を聞く
- ・ 知らない人も多いので、アンテナ高く情報発信
- ・ 先生からも言葉で呼びかけを
- ・ 回覧は、声かけと手渡しで



●より良い生活環境へ

- ・もっと働ける場所をつくる（企業の誘致など）
- ・ヴィアンのような送迎バス制度
- ・空き家の活用
- ・新しい住人が増えたらいい

●お祭りやイベントで地域を盛り上げる

- ・にぎわい市の飲食スペース、駐車場を増やす
- ・よさこいの演舞場をつくる
- ・道の駅をつくる

●自然を楽しむ・守る

- ・花見ができる公園、桜並木の整備
- ・森林保全活動への参加
- ・水路の上を栈敷席のようにしてお花見
- ・サイクリングロードの整備（浦戸湾一周）

●若い世代も一緒に

- ・小学生、中学生の親に直接イベントのチラシを渡す
- ・学校の地域協働本部を活用する
- ・デイサービスで職業体験し、仕事をしている人の話を聞く（中学生）
- ・若いリーダーを育てる
- ・大学生のパワーを活用する

●子育てしやすい環境づくり

- ・自由にボールで遊べる場所をつくる
- ・裏山で安心して遊べるようにする
- ・子どもが自主的に活動できるような取組をする
- ・広い視野を持った子どもの育成
- ・子どもと一緒に公園の掃除をする



5

よこせと未来のまちづくり 子ども会議

平成29年7月7日（金）・7月13日（木）



よこせとの小学生代表として、横浜小学校4年1組（平成29年度）の子どもたちに協力してもらい、現在・未来のよこせとについて意見を出し合うワークショップを行いました。

よこせとのここが好き！

《ヒト》

- ・地域の人がやさしい
- ・よこせとの人は、とても盛り上がる
- ・地域の人が挨拶してくれる
- ・交通安全の人が守ってくれる

《モノ》

- ・公園がある
- ・おいしい食べ物
- ・自然がたくさん
- ・高いところから見る景色がきれい

《コト》

- ・イベントが多い
- ・避難訓練がある
- ・津波がきたとき、逃げる所が近い

よこせとのここが残念！

《ヒト》

- ・挨拶はしてくれるけど、笑顔が少ない
- ・交通ルールを守っていない人がいる

《モノ》

- ・大きな時計がない
- ・スポーツできる場所がない
- ・公園が少ない
- ・公園でボールが使えない

《コト》

- ・道路にゴミがある
- ・海が近いので、地震のときに怖い
- ・いろいろな季節にお祭りをやってほしい

こんなよこせとになるといいな！
こんなことできるんじゃないかな！



- ★困っている人がいたら手助けをする
- ★笑顔であいさつ
- ★ごみ拾いをする
- ★木、花を植える
- ★自転車に乗るときはヘルメットをかぶる
- ★春夏秋冬、お祭りをする→冬用に暖かい浴衣を用意する・温かい食べ物を用意する
- ★楽しいプログラムをする→カレーいっぱい食べる大会・水かけ祭り・酒祭り※大人限定★
- ★ポスターやチラシを作り、地域の人に呼びかける
- ★公園の遊具を増やしたい
- ★自然の中で遊べるスペースがあったらいい



横浜中学校まちづくり会議

平成29年10月21日（土）



横浜中学校の地域協働本部・開かれた学校づくり推進委員会の中で行われた、「横浜中学校まちづくり会議」で出た意見からもアイデアをもらいました。

横浜の資源を活かして、コミュニティや経済を盛り上げよう！
横浜の資源（魅力）は何？それをどう活かせるかな？

- ・旅行雑誌横浜版を作る
- ・横浜ライスで観光作戦
- ・よこせとのマスコットキャラクターを作る

横浜の魅力はなんと言っても「海・山・街」の三拍子！
この自然を活かし、守っていくためには何ができるだろう？

- ・草引きボランティア、花いっぱいボランティアの継続
- ・マラソンごみ拾い
- ・清掃活動を行う
- ・落ち葉、木の実でものを作る

若い世代は、こういう取組で活躍できる！
若者が地域活動に参加していくためにはどうしたらいい？

- ・若者が参加しやすく楽しめる活動（持ち寄り花火、青空パーティー）
- ・家族で楽しめる行事
- ・若者視点のアイデアを出す

災害が起きても安心なまちにするには？
みんなの命を守るためにはどうしたらいいだろう？

- ・町内の人の名簿を作って確認する
- ・災害が起きると多くの避難者が出るので、受け入れる施設を考慮しておく

幅広い世代の情報共有（情報発信・収集）には何が有効かな？
もっと地域を知る・知ってもらうためにはどうすればいい？
イベントにもっと多くの人に参加してもらうには？

- ・インターネットやSNSなどをもっと活用していく
- ・ポストの横にアンケートボックスを置く
- ・横浜カルタ、すごろくで地域の名所を紹介する

どうやったら、まちがにぎわうかな？
今あるイベントをより楽しく！
新しい提案もおもしろいかも！

- ・スタンプラリー（地域ごとのスタンプが集まったら賞品）
- ・横浜中学校の部活が体験できるイベント
- ・よこせと子ども祭り

子育てしやすい、とはどんな環境？
そんな環境をつくるためには、何ができるかな？

- ・キャッチボールができる公園がほしい
- ・宿題を教えてくれるところがあったらいい
- ・安全安心な道路環境

いまや4人に1人が65歳以上の高齢化社会。
高齢者が安心して暮らせるまちにするためには？

- ・向こう三軒両隣の付き合い
- ・困ったら助けてもらえる人を決めておいたら…
- ・バリアフリー
- ・世代間交流

地域住民と中学生が一つのテーブルに着き、それぞれのテーマについて話し合いました！



横浜中学校マスコットキャラクター
よこぴょん



せ

せだいをこえて



横浜保育園

YOKOSETO

III 計画本編

今の「よこせと」はどんな地域ですか？

5年後の「よこせと」はどんな地域になっていて欲しいですか？

この計画は、「よこせと」が目指す未来を実現するため、自分たちに何ができるかを、大人だけでなく、子どもたちも一緒になって考え、いろいろな意見を出し合ってつくられました。

本編では、平成30年度から5年間で「よこせと」が取り組むことについて、具体的な事業内容やスケジュールを、行政側の支援や関連する取組など交えて紹介していきます。

1 理念と将来像

理念

私たちの住む横浜瀬戸地域は、浦戸湾と南嶺に包まれた自然豊かな、元気で明るい笑顔あふれるまちです。

住み慣れた地域で、子どもから大人まで、いつまでも安心して暮らせる、支え合いの気持ちを育んでいきます。

この「よこせと」で、つながりを大切に、今後5年間次のような基本目標に基づく取組を進めていきたいと考えました。



出典：高知土木事務所 高知港パノラマビュー

基本目標

1 安全に安心して暮らせる 住み心地の良いまち



- 0 1 防災
 - ・防災意識の啓発
 - ・避難訓練や避難所開設・運営訓練の実施
- 0 2 道路・交通
 - ・道路環境の改善
 - ・交通安全の意識啓発
- 0 3 つながり（見守り）
 - ・住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくり
- 0 4 子育てしやすい環境づくり（遊び場）
 - ・子どもの遊び場の検討

2 地域の宝を活かした 豊かなまち



- 0 5 自然・環境
 - ・自然を守り、親しむ取組の実施
- 0 6 にぎわい
 - ・お祭りやイベントなど地域を盛り上げる取組の実施
- 0 7 活性化
 - ・交流人口を増やす取組の実施

3 地域がつながる 楽しいまち



- 0 8 つながり（交流）
 - ・地域住民が心も体も元気でいられる環境づくり
- 0 9 子育てしやすい環境づくり（体験）
 - ・子どもたちが様々な分野の活動を体験できる環境づくり
 - ・保育園・小学校・中学校の子どもが交流する取組の実施
- 1 0 若い世代の活躍
 - ・若い世代が活躍できる仕組みづくり

共通項目

- 1 1 情報発信・収集
 - ・地域内外の情報の収集・発信

2 計画の体系

基本 目標	テーマ	取組事業・期間（2018～2022年度）					部会	掲載 ページ
		2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)		
1 安全に安心して暮らせる住み心地の良いまち	0 1 防災	◆防災意識の啓発 ・防災学習会の開催 ・災害に対する呼びかけや火の用心の見回り					安全安心部会	2 8
		◆避難訓練や避難所開設・運営訓練等の実施 ・横浜中学校の避難所運営マニュアル策定 ・避難訓練や災害時の町内放送訓練等の実施 ・避難所開設・運営訓練の実施 ・避難所設備の充実に向けた取組						
	0 2 道路・交通	◆道路環境の改善 ・暗い交差点など危険な場所の調査・確認 ・通学路等の危険箇所の調査点検					安全安心部会	3 0
		◆交通安全の意識啓発 ・自転車乗車時のヘルメット着用の推奨 ・通学路の交通安全指導						
	0 3 つながり（見守り）	◆住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくり ・向こう3軒両隣を意識した“ご近助力”の強化 ・地域課題の共有や勉強会の開催等による地域の見守り力強化 ・自宅で安心して暮らせる地域づくり					福祉部会	3 2
	0 4 子育てしやすい環境づくり（遊び場）	◆子どもの遊び場の検討 ・横浜小学校運動場の時間配分などのルール作り ・子どもたちが遊びやすい公園の検討					子ども部会	3 3
2 地域の宝を活かした豊かなまち	0 5 自然・環境	◆自然を守り、親しむ取組の実施 ・地域の自然を活かしたイベントの実施 ・清掃活動の実施 ・花いっぱい活動の実施 ・生物を知る学習会の開催 ・浦戸湾一周サイクリングロードや周遊コースの検討 ・自然に親しむ環境づくり					活性化部会	3 4
	0 6 にぎわい	◆お祭りやイベントなど地域を盛り上げる取組の実施 ・既存イベントの実施 ・楽しい行事などの検討 ・よさこいの演舞場や競演場の設置に向けた検討 ・近隣地域との合同イベントの企画					活性化部会	3 6
	0 7 活性化	◆交流人口を増やす取組の実施 ・地域の魅力紹介 ・直販店や交流の場の整備についての検討 ・地域内の空き家や施設などの活用方法の検討					活性化部会	3 8

基本 目標	テーマ	取組事業・期間（2018～2022年度）					部会	掲載 ページ
		2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)		
3 地域が つながる 楽しい まち	08 つながり (交流)	◆地域住民が心も体も元気でいられる環境づくり ・健康相談や百歳体操、レクリエーションなどの実施 ・子どもから高齢者まで交流できる居場所づくり ・スポーツ施設等の利用しやすい仕組みづくりの検討					福祉 部会	40
	09 子育てしやすい 環境づくり (体験)	◆子どもたちが様々な分野の活動を体験できる環境づくり ・様々なテーマで、子どもが積極的に関わることができる取組の実施 ・県外、海外についての学習、異文化交流できる機会の創出 ◆保育園・小学校・中学校の子どもが交流する取組の実施 ・小学生の中学校一日入学や小中学生の保育園訪問などのイベントの実施					子ども 部会	42
	10 若い世代の 活躍	◆若い世代が活躍できる仕組みづくり ・次世代のリーダーの育成 ・地元企業や大学との連携した取組の実施					活性化 部会	44
共通 項目	11 情報発信 ・収集	◆地域内外の情報の収集・発信 ・地域住民の意見や地域内外の情報の収集 ・広報紙等による地域情報の発信 ・ホームページやSNSの立ち上げ・活用					全体	46

3 計画内容

よこせと未来のまちづくり会議では、よこせと地域の人や自然、食、文化など様々な魅力が明らかになりました。一方で、解決すべき課題も見えてきました。

これらの魅力や課題を踏まえ、これからのよこせとが「元気で明るい笑顔あふれるまち」であり続けるために、今後5年間に住民主体で取り組む内容をまとめました。

まちづくりは、一人ひとりの“地域を良くしたい”という思いから始まります。

少しずつ、できることから、一緒に取り組んでみませんか？

01	防災	最強の防災力は“地域のきずな”
02	道路・交通	「エブリデイ無事故」を目指そう！
03	つながり（見守り）	住み慣れた地域でいつまでも…
04	子育て環境（遊び場）	どこであそぶ？ここであそぶ！
05	自然・環境	みつけた！自然の恵み
06	にぎわい	あつまろう！よこせとの仲間
07	活性化	広げよう！よこせとの輪
08	つながり（交流）	心も体も元気で！
09	子育て環境（体験）	その体験がキミをそだてる
10	若い世代	つなげよう！よこせとの未来
11	共通項目	情報発信・収集

● 取組ページの見かた

P28からP46までの取組ページを分かりやすく見るための見かたを紹介します。

この見かたを使い、取組の中で自分だけのお気に入り事業を見つけましょう！

01
防災
最強の防災は“地域のきずな”

1

災害時に必要なのは、自助・共助・公助。いざという時に備えて、日頃からの声かけで、自分の命だけでなく、地域のみんで助け合えるよう防災力を高めよう！

“よこせと”が取り組むこと
安全安心部会

防災学習会を開催するなど防災意識の啓発活動を実施します。

- ・防災学習会を開催し、起震車体験や家具の固定の呼びかけ、土砂災害危険箇所の周知等に取り組みます。
- ・“カチカチキッズ”を結成し、災害に対する呼びかけや火の用心の見回りなどを行います。

避難訓練や避難所開設・運営訓練を実施し、大災害に備えます。

- ・横浜中学校の避難所運営マニュアルを策定し、避難所開設・運営訓練を実施します。
- ・避難所経路マップを活用した避難訓練や火災発生時の避難訓練等を実施します。
- ・避難所運営マニュアルを活用した避難所開設・運営訓練を実施します。
- ・避難所設備の充実に向けて、地域からの持ち寄りの呼びかけ等に取り組みます。

取組期間 2018～2022年度	18	19	20	21	22
18	19	20	21	22	22

よこせと防災訓練

高知市も応援します！
自主防災活動への支援

3

- ・自主防災組織が実施する防災訓練に対し、補助を行います。
- ・避難所運営マニュアルの策定及びマニュアルを活用した避難所開設・運営訓練に対し、支援を行います。

【地域防災推進課 088-823-9040】

関連する高知市・高知県の取組
6

1

災害時における情報伝達について

横浜瀬戸地域の津波浸水区域では、行政からの情報伝達のため、固定系デジタル防災行政無線4局を平成28年度に整備しています。平成31年度には、新たに県道桂浜はりまや線と南環状線の交差点に1局増設します。また、学校などの指定避難所においては、災害対策本部との連絡手段として、移動系防災行政無線を整備しています。【地域防災推進課 088-823-9040】

避難所における災害時の食糧等の確保や備蓄について

横浜中学校及び横浜新町小学校は備蓄済です。その他の指定避難所は、平成27年度から平成31年度までの5か年計画に基づいて備蓄を進めています。【防災政策課 088-823-9055】

避難所における災害時の食糧等の確保や備蓄について

横浜中学校及び横浜新町小学校は備蓄済です。その他の指定避難所は、平成27年度から平成31年度までの5か年計画に基づいて備蓄を進めています。【防災政策課 088-823-9055】

横浜瀬戸地域では、大きな災害が発生し断水した場合に備え、横浜中学校南の南部配水池へ応急給水拠点を整備しています。また、長浜地区の園内に耐震性非常用貯水槽（有効水量60㎡）を整備しています。

※応急給水拠点は、給水車が避難所等に届くための基地であり、かつ、地域の方が直接水を給水できる施設です。

※耐震性非常用貯水槽とは、発災後3日分の飲料水を貯水する施設です。

【上下水道局総務課 088-821-9207】

危険箇所の安全対策について

瀬戸東保育園周辺の急傾斜地について、高知県と連携を図りながら、現地確認を行った上で対応を検討します。【地域防災推進課 088-823-9040】

瀬戸東保育園東側の法面について、経年による土砂割れ等の損傷への対応として、平成30年度中に補修方法を検討します。【道路整備課 088-823-9461】

学校を中心とした防災教育について

児童生徒を対象に、起震車による地震の揺れ体験や煙による視界不良体験、心肺蘇生法等の技能講習を実施します。

【教育政策課 088-823-9478】 【高知県南海トラフ地震対策課 088-823-9386】

大学教授等の専門家を学校防災アドバイザーとして学校に派遣し、活動への助言や地域住民も参加できる講演会を実施します。【教育政策課 088-823-9478】

情報コーナー
5

5

災害時の避難所の確保状況について

地震や津波時に想定される避難者に対応する避難所は、レベル1規模では充足していますが、レベル2規模では大幅に不足しています。そのため、地域の集会所等については避難所として事前に指定を進めていきたいと考えています。【防災政策課 088-823-9055】

防災における公園の役割について

公園は災害発生時における緊急避難場所となっています。また、多くの公園が、自主防災組織の防災倉庫の設置場所として利用されています。

【みどり課 088-823-9469】

1
心して暮らせる住み心地の良いまち

- ① 取組内容をキャッチフレーズを用いてわかりやすく伝えます。
- ② “よこせと”が取り組む事業について、写真やイラストを用いてわかりやすく伝えます。
- ③ 取組内容に対する行政（高知市・高知県）の支援を紹介します。
- ④ 取組内容に関連して行政（高知市・高知県）が取り組んでいる事業を紹介します。
- ⑤ 取組内容に関連する豆知識や地域のPRポイントを紹介します。
- ⑥ 取組事業を3つの基本目標ごとにわかりやすく分類します。

27

関連する高知市・高知県の取組

災害時における情報伝達について

横浜瀬戸地域の津波浸水区域では、行政からの情報伝達のため、固定系デジタル防災行政無線4局を平成28年度に整備しています。平成31年度には、新たに県道桂浜はりまや線と南環状線の交差点に1局増設します。また、学校などの指定避難所においては、災害対策本部との連絡手段として、移動系防災行政無線を整備しています。【地域防災推進課 088-823-9040】

避難所における災害時の食糧等の確保や備蓄について

横浜中学校及び横浜新町小学校は備蓄済です。その他の指定避難所は、平成27年度から平成31年度までの5か年計画に基づいて備蓄を進めています。

【防災政策課 088-823-9055】



横浜瀬戸地域では、大きな災害が発生し断水した場合に備え、横浜中学校南の南部配水池へ応急給水拠点を整備しています。また、長浜城山公園内に耐震性非常用貯水槽（有効水量60m³）を整備しています。

※応急給水拠点とは、給水車が避難所等へ水を運ぶための基地であり、かつ、地域の方が直接水を給水できる施設です。

※耐震性非常用貯水槽とは、発災後3日分の飲料水を貯水する施設です。

【上下水道局総務課 088-821-9207】

危険箇所の安全対策について

瀬戸東保育園周辺の急傾斜地について、高知県と連携を図りながら、現地確認を行った上で対応を検討します。【地域防災推進課 088-823-9040】

瀬戸東保育園東側の法面について、経年によるヒビ割れ等の損傷への対応として、平成30年度中に補修方法を検討します。【道路整備課 088-823-9461】

学校を中心とした防災教育について

児童生徒を対象に、起震車による地震の揺れ体験や煙による視界不良体験、心肺蘇生法等の技能講習を実施します。

【教育政策課 088-823-9478】 【高知県南海トラフ地震対策課 088-823-9386】

大学教授等の専門家を学校防災アドバイザーとして学校に派遣し、活動への助言や地域住民も参加できる講演会を実施します。【教育政策課 088-823-9478】

情報コーナー

災害時の避難所の確保状況について

地震や津波時に想定される避難者に対応する避難所は、レベル1規模では充足していますが、レベル2規模では大幅に不足しています。そのため、地域の集会所等については避難所として事前に指定を進めていきたいと考えていますので、相談をお願いします。

【防災政策課 088-823-9055】

防災における公園の役割について

公園は災害発生時における緊急避難場所となっています。また、多くの公園が、自主防災組織の防災倉庫の設置場所として利用されています。

【みどり課 088-823-9469】

「エブリデイ無事故」を目指そう！

少しの気の緩みで起こる交通事故。大人は子どものお手本に、一人ひとりが心に余裕を持ち、危険箇所に気をつけて、みんなで目指そう「事故0（ゼロ）の毎日」を。

“よこせと”が取り組むこと

安全安心部会

道路環境の改善に向けて取り組みます。

- ・ 暗い交差点など危険な場所を調査、確認します。
- ・ 通学路等の危険箇所を調査点検し、関係機関に改善を要望します。

交通安全の意識啓発に取り組みます。

- ・ 子どもたちを中心に、自転車乗車時のヘルメット着用を推奨します。
- ・ 通学路の安全見守り・指導を行います。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22
→				
	→			
		→		
			→	
				→



自転車に乗るときはヘルメット着用



横断歩道は手を上げて



横浜小学校交通安全宣言

高知市も応援します！

公衆街路灯の補助

- ・ 町内会等が、公衆街路灯を新設又は既設街路灯の灯具をLED灯具に取り替える際に、それぞれ補助を行います。また、高知市町内会連合会において町内会等が管理する公衆街路灯の電気料の一部を補助します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】



ヘルメット着用ならびに安全走行の推奨について

- ・ 横浜中学校では、PTA・地域が主体となり、交通安全をテーマとした親子行事を行うなど、先進的な取組が行われています。今後、この取組事例を他地域へ情報発信・情報提供すること等により、ヘルメット着用ならびに安全走行の推奨に協力します。

【学校教育課 088-823-9479】

関連する高知市の取組

危険箇所の整備について

地域からの具体的な要望箇所について、調査や現地立会等を行い、改善できる内容があれば、順次対応します。

【道路整備課 088-823-9461 道路管理課 088-823-9379】

交通安全の意識啓発について

高知市では、交通安全教育の推進を図るために、交通安全教育指導員等が保育園・幼稚園・学校等で年間230回を超える交通安全教室を開催しており、その中でヘルメットの着用を呼びかけ、指導しています。また、高齢者の交通事故が多発していることから、警察等の関係機関とも連携し、高齢者の集まる機会を利用した教育・啓発活動を展開しています。

【くらし・交通安全課 088-823-9487】

情報コーナー



横浜中学校のヘルメット着用推奨活動

横浜中学校では、PTAを中心に、自転車乗車時のヘルメット着用ならびに安全走行の推奨に取り組んでいます。この活動は、息子の交通事故をきっかけに、1人の母親が「事故にあった子どもの家族として、できることがあるはず」とPTAに所属する3人の仲間と共に立ち上がったことから始まりました。

これまで、坂道の多い校区である同校の学年行事として、ヘルメット着用の推奨や自転車を安全に走行する重要性を学ぶ特別事業、地域のイベントでのヘルメット着用PR活動等を行ってきました。

また、この活動に賛同した市内の自転車店が、横浜中学校区に住む小中高生（家族や友人も可）を対象に、店で扱うヘルメットを2割引きで販売するなど、少しずつ活動の輪が広がっています。

今後も「ノーヘルメットノーライド」を合言葉に、同校生徒と対話しながら、ヘルメットの普及を目指した取組を続けていきます。



ヘルメット着用PR活動
(よこせと海辺のにぎわい市)



いくつになっても交通安全！
交通ルールを守ろう！

住み慣れた地域でいつまでも…

よこせとの人は一つの家族やき。見守り「愛」や助け「愛」を持って、子どもから大人まで安心して暮らせる、支え「愛」の気持ちを育んでいきませんか？

“よこせと”が取り組むこと

福祉部会

住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

- ・「支え合いマップ」などを作成し、向こう3軒両隣を意識した“ご近助力”の強化に取り組みます。
- ・自分達が住む地域の課題を共有したり、利用できる制度などについて学ぶ勉強会を開催し、地域の見守り力を高めます。
- ・地域内の福祉施設や行政等と連携して、一人暮らしの高齢者などが、自宅で安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22

高知市も応援します！



地域活動への支援

- ・「支え合いマップ」を作成する際に、「支え合いマップ」の目的や実施方法の説明、作成時の進行を支援します。

【高齢者支援課 088-823-4014】

地域での高齢者支援体制の構築に向けた取組への支援

- ・地域で高齢者の生活を助け合う仕組みづくりに向けて、地域の関係団体の情報共有やネットワークづくりなどを地域（福祉部会）と共に推進します（生活支援協議体など）。

【高齢者支援課 088-823-4014】

情報コーナー

知っていますか？ 地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」

民生委員・児童委員とは、厚生労働大臣から委嘱を受けたボランティアの一員です。核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障害のある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や関係機関をつなぐパイプ役を務めます。

地域福祉コーディネーター

高知市社会福祉協議会に配置する地域福祉コーディネーターが、「支え合いマップ」づくりや地域食堂の実施などの地域が主体となる活動の実現に向けて関係機関との調整などを支援します。

【高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-856-5539】

04 子育て環境 どこであそぶ？ ここであそぶ！

子ども会議では、公園に対する夢があふれた意見がたくさん出ていました。小さい頃のワクワクした気持ちを思い出しながら、みんなで遊び場について考えよう。

“よこせと”が取り組むこと 子ども部会

子どもたちの遊び場について検討します。

- ・横浜小学校運動場の平日夕方以降や土日の活用について、時間配分などのルールを作ります。
- ・遊具があり、ボールで遊べるなど、子どもたちが遊びやすい公園の整備に向けて検討します。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22
	▶			
				▶

関連する高知市の取組

公園の整備について

横浜瀬戸地域には、近隣の居住者の利用に供することを目的とし、2ヘクタールを標準とする近隣公園である瀬戸公園（26,386㎡）をはじめ、大小34箇所の公園や緑地があります。新たな公園整備の計画はありませんが、遊具等の施設や設備の状態に応じて、順次更新を進めています。

【みどり課 088-823-9469】

情報 コーナー

地域の遊び場



瀬戸東町3号公園



瀬戸公園



横浜保育園

ごみは持って帰ろう！



みーつけた！自然の恵み

海・山・川などよこせとでは遊ぶところがいっぱい！自然の魅力を見て、触って、感じて、再発見してみよう！！

“よこせと”が取り組むこと

活性化部会

自然を守り、親しむ取組を実施します。

- ・南嶺ハイキングやニロギ釣り大会など、これまでのノウハウを引き継ぎ、地域の自然を活かしたイベントを実施します。
- ・海、山、川、街で様々な人を巻き込んだ清掃活動を実施します。
(浦戸湾・七河川一斉清掃、8月8日^{ハチハチ}ロードボランティア、横浜小学校自然学習林清掃活動など)
- ・花の名所を知る、作るなど地域を花いっぱいにする活動を実施します。
- ・魚やホタルなど、生物を知る学習会を開催します。
- ・他地域とも連携して、浦戸湾一周サイクリングロードや周遊コースについて検討します。
- ・安全な釣り場の整備やアスレチックの設置など、自然に親しむ環境の整備について検討します。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22
				▶
				▶
				▶
				▶
				▶
				▶

高知県・高知市も応援します！



専門家の派遣

- ・山の学習支援事業により、森林に関わる環境学習や体験活動の取組を支援します。また、環境に関する学習会に指導主事等を派遣します。

【学校教育課 088-823-9479】

環境美化清掃への支援

- ・地域が一体となって行う清掃活動等に、ゴミ袋や軍手の提供、火バサミの貸与等を行います。また、イベントの案内等の周知、実施に向けた関係各課との連携、調整を行います。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】



- ・地域のボランティア団体の清掃活動によるゴミについては、近隣のごみステーションへの排出か直接清掃工場等の清掃処理施設への搬入が基本となりますが、地域が一体となって行う一斉清掃等については、あらかじめ環境業務課に登録の上、実施日等を事前に連絡いただくことにより「美化ごみ」として、清掃日以降の平日に収集することもできますのでご相談ください。

【環境業務課 088-856-5374】

- ・地域のボランティア団体の清掃活動によるごみは、事前連絡により処理手数料を減免します。
【環境政策課 088-823-9209】
- ・「横浜小学校自然学習林清掃活動」など、地域住民や学校との協働により行う清掃活動に協力します。
【高知土木事務所（港湾管理課 088-882-8171 道路管理課 088-882-8646）】

環境保全活動の支援

- ・環境学習の取組について、環境学習会の開催や講師の紹介等により支援します。ホテルに関する取組について、専門講師を紹介するとともに、自然環境の保全活動の実施に向けて、関係各課との連携、調整を行います。【環境政策課 088-823-9209】
- ・環境学習の実施場所を提供します。
【高知土木事務所（港湾管理課 088-882-8171 道路管理課 088-882-8646）】

花苗材料等の助成

- ・地域住民による「花いっぱい会」に対して、1団体当たり年間5万円分を限度として、花苗や肥料等の現物支給により支援します。また、公園の草花や樹木の世話については、公園愛護会に対して、交付金を交付します。【みどり課 088-823-9469】

施設活用の手続き

- ・浦戸湾沿岸施設の活用が具体化する中で、道路占用等の道路法に基づく各種手続きについて支援します。【道路管理課 088-823-9379】

情報 コーナー

地域の取り組み



南嶺ハイキング

毎年10月末に開催している秋の恒例行事！横浜新町側から鷺尾山山頂を目指します。

よこせと地域を一望できる頂上でお弁当を食べたり、レクリエーションをしながら、楽しい時間を過ごします。



浦戸湾海洋調査ニロギ釣り

地域の子どもたちに浦戸湾の豊かな自然を実感してもらおうと、毎年9月末に開催しています。灘漁港を出港し、湾内で釣りをした後、魚の種類や数を集計します。

最後においしいニロギ汁のふるまいもあります！



8月8日・灘ロードボランティア

毎年よさこい祭り前の8月8日に、多くの観光客が通る市内中心部と桂浜を結ぶ道路を、沿線に関わる6つの地域が協力して清掃活動を行っています。

また、年に4回宇津野トンネル南側の中央分離帯の草刈り・清掃を行っています。

高知県も応援します！



施設提供での支援

- ・「よこせと海辺のにぎわい市」、「土佐横浜みなと未来まつり」等のイベント開催において、当事務所が管理する場所や施設の利用に協力します。
- 【高知土木事務所（港湾管理課 088-882-8171 道路管理課 088-882-8646）】

情報 コーナー

よこせと海辺のにぎわい市



2 地域の宝を活かした豊かなまち

浦戸湾に浮かぶ玉島や衣ヶ島など、湾内の美しい風景を眺めることができる“灘漁港（高知県漁協横浜水産施設）”を多くの方に知ってもらい、地域のにぎわいの創出や漁港周辺の環境美化につながればと、毎年5月に開催しています。

県内漁協で水揚げされる新鮮な魚介類や高知市内でとれる農産物のほか、出来たての食べ物も販売しています。

また、マグロの解体実演やカツオのわら焼きタタキ実演販売、ビンゴゲームなど、お客様に楽しんでいただける催しも行っています。

灘漁港周辺もきれいに♪

放置車両や不法投棄の大型ゴミがなくなりました！



平成18年



平成25年

07 活性化

広げよう！よこせとの輪

まちづくり会議では「よこせとは住みやすい街」という意見が出ていましたが、この魅力
を知らない人が多いのではないのでしょうか。もっとPRを行い、よこせとの輪を広げよう！

“よこせと”が取り組むこと

活性化部会

地域内外に地域の魅力を発信するなど、交流人口を増やす取組を行います。

- ・地域の魅力紹介として、“よこはまカルタ”や“旅行雑誌横浜版”、“歴史探訪まちあるき冊子”などを作成します。
- ・直販店や交流の場の整備について検討します。
- ・地域内の空き家や病院、量販店、スポーツ施設などを調査し、地域活動での利用や移住・定住につながる活用方法を検討します。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22

歴史探訪まちあるき



谷時中の墓



横浜瀬戸史跡マップ

“よこせと”まちめぐりマップ作成



高知市も応援します！



観光情報の掲載

- ・観光振興課のホームページに、観光情報に関連する内容を掲載します。

【観光振興課 088-823-9457】

史跡など地域文化の活用に対する支援

- ・横浜瀬戸地区には県指定史跡「谷時中墓」や、横浜城跡（埋蔵文化財包蔵地）があります。事業の実施に向け、歴史など各分野の専門家や研究者を紹介し
ます。

【民権・文化財課 088-832-7277】

関連する高知市の取組

空き家等の利用について

住宅セーフティネット法に基づき、低額所得者や高齢者等向けの賃貸住宅として空き家・空き室等の登録に取り組んでいます。

【住宅政策課 088-823-9463】



移住・定住の取組について

移住希望者を対象に、市内を案内するガイドツアーを、リクエストに応じて実施しています。案内先は鏡地域、土佐山地域、市街地の生活に関連する場所（スーパー・商店街・直販所）などです。

本市へ移住された方を対象に、「移住者交流会」を年4～5回開催しています。平成29年度は、市街地で2回（酪農体験、まちなかでの忘年会）、中山間地域で2回（そうめん流し、七草フェスタ参加）開催し、地域の魅力を感じてもらうとともに、地域の方や移住者同士の交流を深めていただきました。

【政策企画課 移住・定住促進室 088-823-8813】

情報コーナー

移住者インタビュー



ーアラム・リンダ・アンさんー

縁あって朝倉から横浜に移り住んで3年。朝倉での生活もとても素晴らしかったのですが、豊かな自然に恵まれた横浜での生活もまた楽しいです。太平洋から昇る朝日を浴びながら目覚め、潮風を受けながらウォーキングを楽しんでいます。人々もとても温かく、道で出会うと笑顔で挨拶を交わし、気軽に声も掛けてくださいます。

地域内の水産物直販所

「海の漁心市」は、地域に近接する御畳瀬をはじめ県内の市場で水揚げされた水産物の直販所として整備された直販所です。この直販所が地域に定着し、利用が拡大することにより、魚食の普及や水産物の消費拡大に繋がると考えています。

【農林水産課 088-823-9458】



はりまや橋より県道34号線を桂浜方面へ車で10分。宇津野トンネルを抜けてすぐ左。



心も体も元気で！

支え合いのまちづくりの前に・・・みんなが健康でいられることが一番大切。心も体も元気でいられるよう、交流できる居場所づくりに取り組んでいきましょう。

“よこせと”が取り組むこと

福祉部会

地域住民が心も体も元気でいられる環境づくりを行います。

- ・日頃からの健康づくり活動として、関係機関と連携した健康相談や百歳体操、レクリエーションなどを実施します。
- ・様々な交流の場として、子どもから高齢者まで交流できる居場所づくりに取り組みます。
- ・ヨネッツこうちなどのスポーツ施設を地域が利用しやすいような仕組みづくりとして、利用者の負担軽減などを検討・提案します。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22



昔あそび



夏休みラジオ体操

高知市も応援します！

健康づくり活動への支援



- ・いきいき百歳体操やかみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操の目的や効果等に関する説明を行います。また、地域の方が行う主体的かつ継続した活動に必要なDVDや重りの貸し出しと各種体操開始時の技術支援を行います。こうち笑顔マイレージでは、ボランティア活動受入機関を指定し、地域の高齢者が活動できる場づくりを支援します。

【高齢者支援課 088-823-4014】

講座や学習会の支援

- ・自治公民館やPTA等の各種団体、グループ等が公民館等を利用して行う自主的で継続的な生涯学習活動に対し、講座や学習会の講師謝金の一部を助成します。

【生涯学習課 088-821-9215】

百歳体操の様子



瀬戸東町公民館（いきいき百歳体操）

いきいき百歳体操

重りを手首や足首に巻きつけ、イスに座ってゆっくり手足を動かす筋力運動です。体力をつけ、いくつになってもいきいきとした生活を送りましょう！

かみかみ百歳体操

食べる力や飲み込む力をつけるための体操で、イスに座って口の周りや舌を動かします。おいしく食べ、人とおしゃべりを楽しく生活を送りましょう！

しゃきしゃき百歳体操

イスに座った状態で映像に合わせて、二つの動作を同時に行う体操です。認知機能を向上させ、いつまでも安心した生活が送れるようにしましょう！

老人憩所定例講座について

市内在住の60歳以上の方を対象とした講座が、南部健康福祉センターで開催されています。

—平成30年度の開催講座紹介—

- デジカメ教室・囲碁・社交ダンス・フラダンス・折り紙・押し花・水墨画・男の初料理・ピラティス・コーラス・洋裁・絵手紙・民謡・ヨガ・歌謡教室・3B体操

【高知市老人クラブ連合会 088-831-3324】

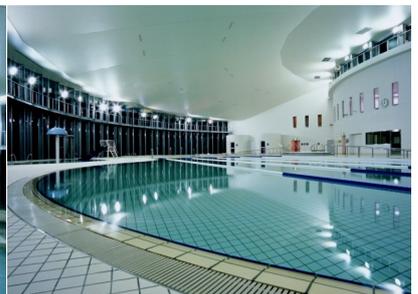


ヨ ネットこうちについて

ヨネットこうちは、ごみ焼却に伴う余熱の有効利用を図り、市民の健康の保持及び増進、生涯スポーツの振興のために作られた施設です。現在、高齢者（65歳以上の方）の使用料を一般利用者の半額としているほか、年2回「無料開放DAY」をイベントの一環として実施しています。

また、割安な定期券（1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）も利用できます。

【ヨネットこうち 088-841-2311】



その体験がキミをそだてる

よこせとキッズは無数の可能性を秘めている原石です。できること、やりたいことなど様々なことにチャレンジできるよう支援しましょう。

“よこせと”が取り組むこと

子ども部会

子どもたちが広い視野を持てるように、様々な分野の活動を体験できる環境をつくりまします。

- ・スポーツ、文化、植物、天文、料理など様々なテーマで、子どもが積極的に関わることができる取組を行います。
- ・県外、海外についての学習、異文化交流できる機会を作ります。

保育園・小学校・中学校の子どもが交流する機会をつくりまします。

- ・小学生の中学校一日入学や小中学生の保育園訪問（花植え、清掃）などのイベントを実施します。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22

高知市も応援します！

子どもたちによるまちづくり活動の支援



- ・高知市こどもまちづくり基金助成事業「こうちこどもファン」では、子どもたちが、自分たちのアイデアで自分たちの住む地域を、より魅力的な住み良い「まち」にするための活動（まちづくり活動）に対して上限20万円の範囲内で助成します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】



青少年育成協議会への支援

- ・地域の小学生や中学生の校外での活動等を支援する団体である青少年育成協議会に対して、補助金を交付します。また、各校区の青少年育成協議会活動などについて、情報提供します。

【生涯学習課 088-821-9215】

学童期（小学生）への接続に関する支援

- ・保・幼・小連携推進地区（横浜保育園等）における学童期への円滑な接続の支援を目的に、アプローチカリキュラムの作成や実践について、民営保育所等の運営費を助成します。

【保育幼稚園課 088-823-4012】

関連する高知市の取組

地域における読書活動の推進について

児童用図書の充実や本館・分館・分室での読み聞かせ、ブックスタート事業の実施、移動図書館バスによる地域や学校等への配本活動等を展開しています。

※横浜瀬戸地域での移動図書館バスステーションは、横浜市住・横浜1号公園・横浜3号公園・横浜4号公園・サンシャインヴィアン店の5か所で、配本は、横浜文化センター・横浜新町小・横浜保育園・横浜新町保育園・瀬戸東保育園・杉の子せと幼稚園の6か所で実施しています。

【図書館・科学館課 088-823-4946】

保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校の連携について

「保・幼・小連携推進地区事業」において小学校と校区にある園を推進地区として指定し、近隣の園と小学校の園児・児童や教職員が交流できるように支援しています。また、推進地区の取組をパンフレットにまとめ、市内全ての園や小学校に発信しています。各中学校区において、毎年2学期から3学期にかけて、小学生の1日体験入学を行っています。また、地域と小中学校が共同で「防災フェア」を実施するなど、小中学生が交流できる取組を実施しています。

【学校教育課 088-823-9479】

情報コーナー

地域の取り組み



万華鏡教室



浦戸湾海洋調査 ニロギ釣り



横浜小学校自然学習林清掃活動

楽しいアイデアを募集します！
やってみたくことがあったら
連携協議会までご連絡ください！



図書館複合施設「オーテピア」について

オーテピア高知図書館では、「これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館」を基本理念とし、課題解決支援など暮らしと仕事に役立つサービスの充実に努めます。

また、高知みらい科学館では、理科好きの子どもを育てるための理科教育振興事業として、県内全ての希望校の小4・中1を対象とした理科授業や、科学を楽しむ文化を育てるための科学文化振興事業として、プラネタリウム・サイエンスショー・サイエンスクラブ等を展開します。

【図書館・科学館課 088-823-4946】



地域活動に「若い」も「ベテラン」も関係ありません！それぞれが興味のある分野で、のびのびと活動し、未来へつながる環境を作ろう！

“よこせと”が取り組むこと

活性化部会

若い世代が活躍できる仕組みを作ります。

- ・PTAや大学生など若い世代が関心を持つテーマを切り口とした取組を行うことで、次世代のリーダーを育成します。
- ・地元企業や大学と連携して取組を行います。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22
				▶
				▶



横浜小学校 自然学習林清掃活動



横浜中学校 花いっぱい大作戦



横浜中学校 防災出前プレゼン

高知市も応援します！

防災リーダーの育成支援



- ・自主防災組織や地域住民が防災の知識を身に付け、地域で防災リーダーとして活躍できるように、防災人づくり塾を開催します。また、防災人づくり塾の修了生には、防災士の資格取得を支援します。

【防災政策課 088-823-9055】

地域リーダーの育成支援

- ・現在地域活動を行っている団体の悩みの解決や地域活動の担い手を育成する「地域活動実践ゼミナール」を開講します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

スポーツリーダーの育成支援

- ・地域のスポーツを推進する指導者の育成を図るため、スポーツ推進指導員養成教室を開講します。

【スポーツ振興課 088-823-2630】

地域の取り組み

瀬戸東町元気キッズ



瀬戸東町元気キッズは、地域の幼稚園児から高校生までのメンバーで構成されています。地域の人に貸してもらった畑で野菜を作り、収穫した野菜を一人暮らしのお年寄りにプレゼントしたり、野菜を使った料理でもてなす交流会を開催したりするなど、地域のお年寄りと交流を深める活動を行っています。

ここから始まる小さな支え合いが地域全体の支え合いとなり、“子どもから高齢者までがつながりの輪を広げるまちづくり”へと繋がっています。

スポーツ少年団



みんなであそぼう！横浜保育園

8月を除く第1・第3月曜日の午前9時30分から11時を「みんなで遊ぼう」（未就園児園庭解放日）としていますので、ぜひ遊びに来てください。

なお、施設見学・育児相談等は随時行っています。

【横浜保育園 088-841-2139】



11 共通項目

情報発信・収集

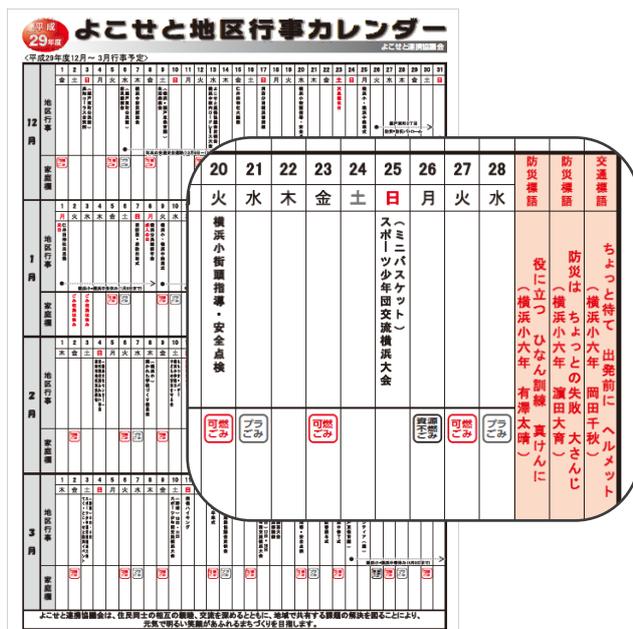
よこせとの様々な取組や魅力をもっともっと集め、「よこせとはこんな良いまち」と地域内外にPRをして、この想いを届けよう！

“よこせと”が取り組むこと

地域内外の情報を収集発信し、地域の連携や活性化に活かします。

- ・アンケート調査やインターネットの活用により、地域住民の意見や地域内外の情報を収集します。
- ・広報紙等により地域情報を発信します。
- ・ホームページやSNSを立ち上げ、よこせとの魅力をPRします。

取組期間 2018～2022年度				
18	19	20	21	22



よこせと地区行事カレンダー

よこせと連携協議会所属団体の各種行事が一目でわかるカレンダーを作成し、年に3回、活動区域内の各世帯に配布しています。

ごみの収集日や小学生の防災・交通標語を入れるなど、地域のみなさんに活用してもらえるよう工夫をしています。

高知市も応援します！

地域情報発信の支援



- ・地域イベントの告知など地域が発信したい情報を、広報「あかるいまち」や市の公式フェイスブックへの掲載など協力します。また、地域情報紙の編集や紙面のデザイン等についてアドバイスします。

【広聴広報課 088-823-9446】

- ・地域コミュニティ推進課のホームページに、地域で共有したい情報を掲載する等、情報発信を支援します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

各テーマに共通する高知市の支援

ここでは、テーマにこだわらず地域の皆さんのやる気を応援する、高知市の支援を掲載しています。興味・関心がある方は気軽にご連絡・ご相談ください。

高知市も応援します！



「あなたに届け隊 出前講座」の開催について

・皆さんが集まる場所に市職員が出向き、暮らしに役立つ情報や市の取組について説明します。地域の集まりやサークル等でぜひご利用ください。

【広聴広報課 088-823-9446】

地域活動への支援について

・地域活動に対する財政的支援として、地域内連携協議会へ補助金を交付します。また、市民活動サポートセンターでは、「公益信託高知市まちづくりファンド」などの活動資金に関する情報を提供します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】



出前講座の様子

情報コーナー

地域活動の拠点について

地域活動の拠点機能は、地域コミュニティの現状や将来像を見据えながらの検討が必要となります。地域内にある公共施設の有効活用、民間事業者のアイデアや民間施設の利活用など、持続可能な地域活動の場となる拠点機能の在り方を、多様な視点からみんなで考えていきませんか？

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080 財産政策課 088-802-5688】

と

ともにあゆむ



第12回よこせと未来のまちづくり会議（平成30年6月13日）

YOKOSETO

IV 資料編

1 コミュニティ計画について

これまでの取組経過

高知市は、平成3年度策定の「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完・連携する各地区の居住地域（コミュニティ）ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ、市民と行政のパートナーシップのもと平成5年度から各地区において策定及び推進に取り組んできました。

各地区では、コミュニティ計画の策定に取り組む「コミュニティ計画策定市民会議」が順次設立され、これまでに1,200人を超える多くの市民が参加して、それぞれの計画案が作成されました。

計画案の市長への提言を受けて、本市では、庁内横断組織であるコミュニティ計画策定委員会及び幹事会での調整等を行い、28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定するとともに、計画を実践する市民主導の自主的組織として各地区で設立された「コミュニティ計画推進市民会議」が中心となって、約20年にわたり計画登載事業の推進に取り組んできました。

また、平成15年度に施行した「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において『コミュニティ計画の策定と推進』を本市の役割と位置づけており、それ以降は条例に基づいて推進しています。

一方、策定した計画の登載事業の多くが実施済みであることや、市内約3分の1の地域では計画が未策定であること、計画を策定した当時とは社会情勢が大きく変化していることなどから、コミュニティ計画についても、将来的な地域のまちづくりを持続可能なものとするために見直しの必要性が生じています。

【参考】現行コミュニティ計画の考え方

- ・市域全体を地域の視点で区分し、それぞれの地区において、土地利用のあり方や生活環境の保全・整備の課題等を検討する計画
- ・各々の居住地域（コミュニティ）で、そこに住む住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画
- ・策定に当たっては、その方法や計画の内容は、各々の居住地域（コミュニティ）の特性に応じた多様なものとなる

地域コミュニティ再構築事業の展開

近年、本市でも少子化・高齢化や人口減少が進む中で、地域活動の将来的な担い手不足などへの不安が広がっており、今後の地域課題の解決に向けて地域と行政の協働によってまちづくり活動に取り組み、それぞれの役割を担い合える仕組みを検討するため、平成22年度から地域コミュニティ再構築事業に取り組んでいます。

その中で、地域での住民自治を継続できるような助け合い・支え合いをめざす地域内での連携・協力の仕組みとして、各地域での「地域内連携協議会」の設立を提案しており、平成30年8月時点で市内23地域において設立された地域内連携協議会では、各分野で活動する地域団体が参画し、地域の特性を活かした活動に主体的に取り組んでいます。その一方で、地域のまちづくりの方向性を見据えて、計画性と実効性を持った活動の推進が求められています。

モデル地域におけるコミュニティ計画策定の方針

本市が設置する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、平成27年度に今後のコミュニティ計画のあり方について議論された結果、市民と行政の協働の理念に基づき、地域の意見を踏まえてコミュニティ施策の再検討を行うことや、PDCAサイクル（Plan・計画 → Do・実行 → Check・評価 → Action・改善）による計画の検証を実施すること等について、平成28年4月に同委員会から市長に対して提言がなされました。

提言を受けて、本市では、現行のコミュニティ計画の考え方を踏まえ、市民と行政の協働を基本として、次に掲げる「計画の構成」、「計画策定の主体」、「計画推進の主体」、「計画期間」といった視点を中心に、今後策定するコミュニティ計画について検討を行うこととしました。そこで、現行コミュニティ計画未策定の「久重地域」と策定済の「よこせと地域」をモデル地域に選定し、平成28年度から新たな計画の策定に取り組みました。今後は、この結果を踏まえて検証し、コミュニティ計画についての考え方を整理していきます。

■ 計画の構成

本市では、平成15年度に都市計画区域におけるハード面でのまちづくりの方針や具体的な取組を示した「都市計画マスタープラン」を策定するとともに、平成25年度には都市計画区域外も含む全市域を対象に更新し、全地域の地域別構想も盛り込んだ内容としており、現行のコミュニティ計画に登載していた比較的規模の大きなハード事業は、都市計画マスタープランに登載されています。

こうしたことから、モデル地域におけるコミュニティ計画では、ハード・ソフトを問わず、その地域に関係する事業を網羅するように登載した現行計画の構成から、特に地域に関わる防災、福祉、教育、コミュニティなどの分野で、地域の方々の主体的な取組が想定されるソフト事業や、地域コミュニティに関係する比較的規模の小さいハード事業を中心とした構成に見直すこととします。

■ 計画策定の主体

各地域で設立された地域内連携協議会は、コミュニティ計画推進市民会議をはじめとする地域の多くの団体の参画によって、様々な視点から地域のまちづくりについて考える場になりつつあるなど、まちづくりに関わる主体の在り方も変化が見られるようになっており、モデル地域におけるコミュニティ計画の策定に当たっては、地域内連携協議会を中心に取り組むこととします。

一方、本市では地域コミュニティ再構築事業の着手以降、新たな庁内横断組織である地域課題検討会議を平成25年度に、また検討会議内に新コミュニティ計画検討部会を平成28年度に設置しており、これらの組織をコミュニティ計画策定に向けた協議の場と位置付け、これまでと同様に庁内調整及び他機関との協議等を行います。

■ 計画推進の主体

地域内連携協議会は、自主的な運営の下に参画する各種団体が連携・協力しながら、各地域の特性に応じた活動を実施しています。今後、こうした活動に計画性と実効性を持たせ、将来にわたって持続可能なものとしていく観点からも、モデル地域におけるコミュニティ計画は、地域内連携協議会を中心に推進する仕組みの充実をめざします。

また、計画に沿って地域が主体的に取り組む事業については、地域内での役割分担を事前に決めておくことで、計画の円滑な推進を図ることができます。地域内連携協議会は、各分野で活動する地域団体が参画していることから、地域内で連携・協力しながら取り組む専門部会を協議会内に設置することが望ましいと考えています。

こうした活動が円滑に進むように、本市では、会議での情報提供等を行う地域活動応援隊職員の配置による人的支援と、地域内連携協議会の自主的な運営や活動に対する運営費・活動費補助金等による財政的支援を実施しています。また、地域課題検討会議を中心に各担当部署との庁内横断的な調整や他機関との協議等を行うことで、市民と行政の協働によるまちづくりをめざします。

■ 計画期間と今後の更新

将来に向けて持続可能なまちづくりの推進を実現するためには、単年度ごとの活動を通して計画性を持って取り組むことが必要です。

そのため、モデル地域では、策定や推進に関わる主体が目標の達成に向けて一定の見通しを立てやすくするように、計画期間を5年間と設定することとしました。

また、長期的な将来像を共有するとともに、計画の達成状況や状況の変化を的確に把握できるように、PDCAサイクルの考え方に沿って進捗状況を確認しながら計画の内容を見直し、更新していくことを考えています。

地域においても、それぞれの活動状況等を把握しながら、各年度の事業計画を検討し、実施につなげていくことが望ましいと考えています。

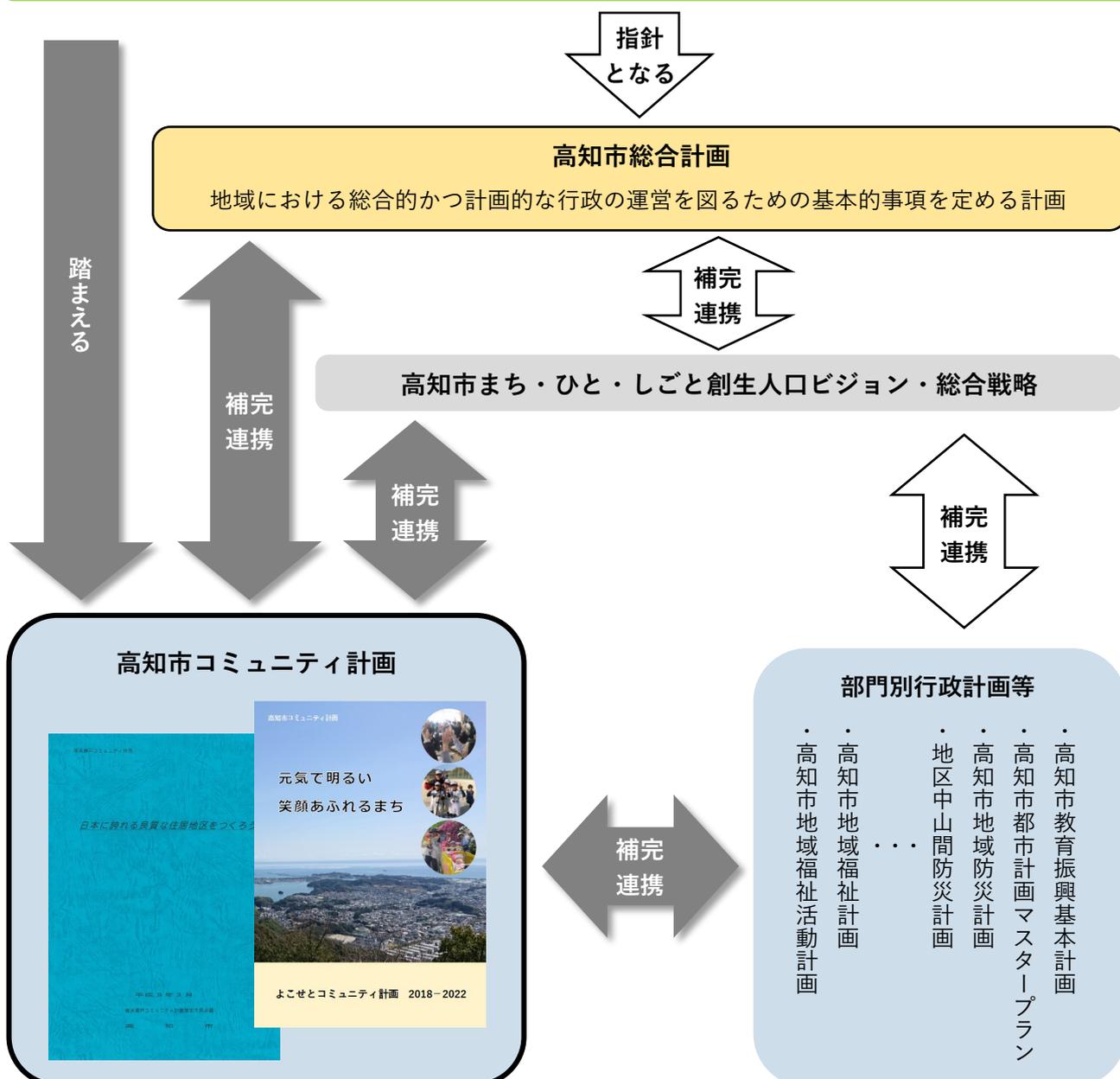
コミュニティ計画と総合計画や各種関連計画との関係

「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互補完する行政計画として位置づけたコミュニティ計画は、平成28年度に策定した「2011高知市総合計画（2016基本計画改訂版）」においても、補完・連携するものとしています。

また、本市を取り巻く状況の変化の中で、東日本大震災の発生を受けて策定した「高知市強靱化計画」を踏まえた計画とすることや、地方創生の取組である「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」と補完・連携の関係にあることに加え、各部門行政計画との連携を通じた行政内部での部局横断的な対応が求められています。

特に、地域コミュニティ再構築事業に取り組む中で、コミュニティ計画が地域における取組と行政の取組について、防災や福祉などの分野の枠を越えて機能的に結びつける役割を担うことを期待しており、その必要性は今後も高まっていくものと考えています。

高知市強靱化計画



2 計画策定の経過

年月	会議名	場所	協議内容	参加人数 ※行政職員含む
平成29年6月14日	第1回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・よこせとの魅力と課題	31名
平成29年7月7日	横浜小学校 第1回 子ども会議	横浜小学校	・よこせとの好きなおところ、 残念なおところ	33名
平成29年7月12日	第2回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・将来ビジョンと分野別の目標設定	26名
平成29年7月13日	横浜小学校 第2回 子ども会議	横浜小学校	・よこせとの将来像、 やりたいこと、できること	35名
平成29年8月23日	第3回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・基本目標の設定、 具体的事業の立案	29名
平成29年9月13日	第4回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・具体的事業の立案	23名
平成29年10月11日	第5回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・具体的事業の実施方法検討	19名
平成29年10月21日	横浜中学校 まちづくり会議	横浜中学校	・事業のアイデア出し	38名
平成29年11月8日	第6回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画素案の確認、組織体制 (市民会議の今後)について	21名
平成29年12月13日	第7回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・具体的事業の優先順位や期間検討	33名
平成30年2月14日	第8回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・照会結果の確認・計画体系の検討 ・お試し事業の検討	29名
平成30年3月13日	お試し事業 第1回 実行委員会	横浜小学校	・お試し事業の具体的内容の検討	7名
平成30年3月14日	第9回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・冊子構成の検討 ・計画案の編集	19名
平成30年4月11日	第10回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画冊子の検討	26名

年月	会議名	場所	協議内容	参加人数 ※行政職員含む
平成30年4月16日	お試し事業 第2回 実行委員会	横浜小学校	・マップへのよこせと情報の落とし込み	12名
平成30年5月9日	第11回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画案の確認	28名
平成30年5月23日	お試し事業 第3回 実行委員会	横浜小学校	・マップの作成イメージ検討、共有	13名
平成30年5月28日	計画冊子編集委員会	横浜小学校	・計画冊子の編集	10名
平成30年6月11日	お試し事業 第4回 実行委員会	横浜小学校	・マップの具体的イメージの検討	10名
平成30年6月13日	第12回 未来のまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画案の最終確認	21名
平成30年7月4日	計画案報告会	高知市役所 本町仮庁舎 特別応接室	・高知市長へ計画案の提出	19名



3 よこせと未来のまちづくり通信

よこせと未来のまちづくり会議・子ども会議等で話し合った内容を広報紙にまとめ、地域に紹介しました。



よこせと未来のまちづくり通信 Vol.1
(平成29年7月発行)

第1～2回まちづくり会議・子ども（横浜小学校）会議

- ◆ よこせとの魅力・好きなどころ
- ◆ よこせとの課題・困っているところ
- ◆ よこせとの魅力を活かすためにできること
- ◆ よこせとの課題を解決するため必要なこと

よこせと未来のまちづくり通信 Vol.2
(平成29年11月発行)

第3～6回まちづくり会議・横浜中学校まちづくり会議

- ◆ これからの5年間で取り組むテーマ
- ◆ 具体的な事業のアイデア
- ◆ 地域全体で協力できる仕組み（体制イメージ）



よこせと未来のまちづくり通信 Vol.3
(平成30年6月発行)

第7～12回まちづくり会議

- ◆ よこせとの将来像・基本目標
- ◆ 「よこせとコミュニティ計画」の事業内容
- ◆ 事業の取組主体



4 よこせとの地図



5 計画策定参加のみなさん

よこせと地域のみなさん

井上 一彦	江口 富博	岡田 法生	門脇 忍	上島 義彦	仮谷 清子
神崎 茂久	琴寄 學	近藤 文世	塩見 絵里香	下村 文恵	杉藤 良廣
杉本 裕公	鈴木 美津子	高野 澄江	高橋 成一	竹内 隆之	田中 敏幸
土居 有紀	富岡 るり	友永 さおり	西尾 健一	野瀬 ちえこ	濱谷 幸子
濱田 満子	林 静	弘瀬 誠一	前田 栄子	丸岡 圭郎	宮崎 勝年
山岡 斗子	山崎 直美	山下 等生	山本 和範	山本 弥生	山脇 一男
横川 良章	横山 あおい				

※五十音順

横浜小学校

4年1組（当時） のみなさん	教職員のみなさん	生徒会のみなさん	教職員のみなさん
-------------------	----------	----------	----------

横浜中学校

よこせと連携協議会の構成団体

よこせと町内会連合会	よこせと・まちづくり 市民会議	横浜校区交通安全会議	横浜体育会
横浜小学校区 青少年育成協議会	よこせと防災連合会	横浜公民館	横浜小学校
横浜小学校PTA	横浜中学校	横浜中学校PTA	高知市消防団 長浜分団横浜部
長浜地区 人権啓発推進委員会	長浜地区 社会福祉協議会	長浜地区民生委員 児童委員協議会	高知南福社会 ・横浜保育園

協力団体

高知市社会福祉協議会

計画策定事務局（高知市）

地域コミュニティ
推進課

地域活動応援隊



① よろこびいっぱい

② ころあったか

③ だいをこえて

④ もにあゆむ

発行 平成30年8月

よこせと連携協議会

高知市 (地域コミュニティ推進課 088-823-9080)